

■目次

- ・第 25 回大会を終えて
- ・第 26 回大会開催に向けて
- ・理事会報告
- ・2024 年度総会報告
(2023 年度事業報告及び決算報告、2024 年度事業
計画及び予算)
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・学会表彰委員会報告
- ・企画研究委員会報告
- ・支部活動報告
(北海道支部、東日本支部、関西支部、九州支部)
- ・事務局からのお知らせ
- ・会員情報(2024 年 6 月～10 月まで)

第 25 回大会(愛知東邦大学)を終えて

2024 年 9 月 14 日(土)・15 日(日)、第 25 回大会を愛知東邦大学キャンパス(名古屋市中東区)にて、懇親会も含めて完全対面で開催しました。大会テーマ「共創による新たなインターンシップの展望」は、前大会での「原点回帰。今改めてインターンシップを考える。」を基盤にしなが、新たな「共創」に向けた議論を期待し企画されたものです。

大会 1 日目に行われた、「若者・社会を取り巻く職場環境と働く価値観の変化」がテーマの基調講演では、古屋星斗氏(リクルートワークス研究所 主任研究員)から、現在の労働市場・若者のキャリアなどの視点から、昨今の職場や若者の考え、今・これから求められるインターンシップについて話題を提供いただきました。続くシンポジウムでは、コメンテーター/モデレーターの松坂暢浩(日本支部長(山形大学)のもと「これからインターンシップには、何が求められるのか」をテーマに、南田修司氏(NPO 法人 G-net 代表理事)、中村恵和氏(一般社団法人わくわくスイッチ代表理事)、今永典秀(大会副実行委員長(名古屋産業大学)、古屋星斗氏による、楽しく、熱く、想いの溢れる議論が交わされました。また、学会表彰委員会からは、角光通子(宇部フロンティア大学)による 2023 年度高良記念研究助成報告に続き、2024 年度の採択結果として安藤奏(特定非営利活動法人ブランディングポート)会員、岡靖子(琉球大学)会員、川端千鶴(北海道大学)会員の受賞が発表されました。大会 2 日目は、会員による研究発表 15 件(4 会場)が行われました。

大会参加申込者は 72 名、シンポジスト、学生スタッフ・関係者を含めると 100 名超となり、コンパクトな会場は満員御礼となりました。懇親会参加申込者は 43 名であり、学内での開催ということもあり、顔の見える和やかな時間を過ごすことができました。今回は、大会参加申

込者(対面会場参加者)向けに 1 日目のみ Live 配信を試みました。これは、休憩室内ディスプレイ等での配信を企図したものでしたが、一定数の学外からのアクセスもありました。

大会運営は、第 26 回大会開催校の北海道武蔵女子短期大学に引き継がれます。最後に、第 25 回大会にご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

(第 25 回大会実行委員長 手嶋慎介・
愛知東邦大学)



閉会式での集合写真

第 26 回大会(北海道武蔵女子短期大学)開催に向けて

第 26 回大会は、2025 年 9 月 13 日(土)・14 日(日)の 2 日間、北海道札幌市にある北海道武蔵女子短期大学にて対面形式で開催いたします。同短大での開催は 2013 年の第 14 回大会以来、12 年ぶりとなります。大会実行委員会は北海道支部運営委員が担当いたしますので、どうぞよろしく願いいたします(メンバーの詳細は北海道支部の記事をご覧ください)。

今回の大会テーマは「社会と共に学び、成長する:地域×グローバル×イノベーション」といたしました。これま

での当学会での取り組みや、名古屋大会で議論された「共創による新たなインターンシップの展望」を踏まえ、北の大地において、地域とグローバル、イノベーションの視点から、これからのインターンシップおよび職業統合的学習について議論を深めてまいりたいと考えております。

現在のところ、大会初日には基調講演や地域、グローバル、イノベーションをテーマとしたシンポジウムを企画しており、実行委員を中心に準備を進めております。また、夕刻には懇親会（会場未定）を予定しており、二日目午前は自由研究発表の場とする計画です。

会員の皆様には、2023年に北広島市（新千歳空港と札幌市の間）にオープンした日本ハムファイターズの本拠地「エスコンフィールドHOKKAIDO」および北海道ボールパーク F ビレッジの見学も兼ね、ぜひともご参加いただければ幸いです。大会の詳細につきましては、学会の Web サイトやメールマガジン等を通じて順次ご案内いたしますので、どうぞお楽しみにお待ちください。

なお、開催校である北海道武蔵女子短期大学は、2024年4月より同キャンパス内に北海道武蔵大学（経営学部）を新設し、短大の学科は教養学科と英文学科に再編されました。2025年度からは教養学科が1学科3コース制となります。前回の2013年開催時と大きな施設の変化はありませんが、学内は引き続き「土足禁止」となっておりますので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、9月の北海道は季節も良く、エスコンフィールドや F ビレッジをはじめ、雄大な自然や美味しい食事も楽しめる絶好の時期です。大会実行委員会一同、皆様のご参加を心よりお待ちしておりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

（第26回大会実行委員長 高橋秀幸・北海道武蔵女子短期大学）

理事会報告

2023年度 第6回理事会

（2023年5月30日 ＊Web会議）

入退会の審査と第25回大会準備状況についての協議をおこないました。また、前回理事会の議事録を確認するとともに、各委員会・各支部の活動状況、ならびに事務局より、学会管理事務局ガリレオからの請求が今後は電子対応によるものになることが報告されました。また、事務局より、総会に向けた各支部の決算ならびに余剰金の返金に関する依頼がありました。協議の概要は次のとおりです。

(1)入退会の審査

・事務局より資料が提示され、協議を行った結果、退会1件（個人会員1件）を承認しました。また、亀野理事より、全国大会の発表を希望する入会希望者に関する情報提供と確認がなされ、吉本会長より、状況により書面会議を開催するなど臨機応変に対応していく方針が示されました。また、法人会員の入会に際しては、法人の実態等を確認していくことの必要性が指摘されました。

(2)第25回大会準備状況について

・手嶋大会実行委員長より、資料に基づき、第25回大会の予算概要の説明があり、承認されました。また、大会専用 Web サイトの開設の必要性の有無についての確認がなされました。

2023年度 第7回理事会

（2023年6月13日 ＊書面会議）

前回の理事会での協議を踏まえ、全国大会での発表を希望する新入会員に関する入会審査を臨時書面会議として開催し、書面評決を諮りました。評決の結果、全員一致で入会が認められました。

2024年度 第1回理事会

（2024年8月12日 ＊Web会議）

入退会の審査と第25回大会準備状況についての協議をおこないました。また、前回理事会の議事録を確認するとともに、各委員会・各支部の活動状況が報告されました。加えて、事務局より、①非アクティブ会員の情報の取り扱い、②監査方式についての検討状況が報告されました。協議の概要は次のとおりです。

(1)入退会の審査

・事務局より資料が提示され、協議を行った結果、入会5件（個人会員5件）と退会6件（個人会員5件／学生会員1件）を承認しました。

(2)第25回大会準備状況について

・手嶋大会実行委員長より、資料に基づき、第25回大会プログラム等について説明があり承認されました。伊藤理事より、共同研究者、共同発表者（特に、主たる発表者）の表記についての確認と提案がありましたが、今回の大会では、現状の案通り進めることを確認しました。また、安孫子監事より、懇親会の申し込み方法についての確認があり、大会の申し込みページとは別の懇親会申し込みページを開設していることが確認されました。

2024年度 第2回理事会

（2024年9月11日 ＊Web会議）

入退会の審査に加え、2023年度決算・事業報告、

2024 年度予算・事業計画、2024 年度総会資料(案)の協議、ならびに第 25 回大会準備状況についての協議を行いました。また、前回理事会の議事録確認と各委員会・各支部・事務局より、報告がなされました。協議の概要は次のとおりです。

(1)入退会の審査

・事務局より資料が提示され、協議を行った結果、入会 1 件(個人会員 1 件)を承認しました。

(2)2023 年度決算・事業報告(案)

・事務局より資料が提示され、2023 年度決算・事業報告の説明がありました。これに対して、安孫子監事と坂野監事の監査により適切に会計処理が行われていることが確認されているとの報告がなされました。これを踏まえ、資料の確認・修正の後、協議を行った結果、2023 年度決算・事業報告が承認されました。

(3)2024 年度予算・事業計画(案)

・事務局長より資料が提示され、2024 年度予算事業計画の説明がありました。これを踏まえ、資料の確認・修正の後、協議を行った結果、2024 年度予算・事業計画が承認されました。

(4)2024 年度総会資料(案)

・事務局長より、資料に基づき 2024 年度総会資料(案)の説明がなされました。これを踏まえ、資料を確認した後、協議を行った結果、2024 年度総会資料(案)については、資料の文言の修正を行うことを前提に、承認されました。

(5)第 25 回大会準備状況について

・手嶋大会実行委員長より、第 25 回大会準備状況の説明がありました。参加者数は、会員 62 名、非会員 5 名、合計 67 名、講壇者、スタッフを入れると約 90 名となること、高良記念研究助成表彰のオンラインでの公開について説明がなされ、承認されました。

(事務局長 山口圭介・玉川大学)

(2)2023 年度 事業報告(案)

(3)2023 年度 決算報告(案)

2023 年度 監査報告

(4)2024 年度 事業計画(案)

(5)2024 年度 予算(案)

(6)2024 年度 高良記念研究助成について

(7)第 26 回大会について(案)

(事務局長 山口圭介・玉川大学)

2024 年度総会報告

2024 年度総会が、2024 年 9 月 14 日(第 25 回大会 1 日目)に対面とオンラインの併用(対面会場:愛知東邦大学)形式で開催されました。2024 年度総会では、次の 7 つの議題および議案についての審議が行われ、承認されました。

(1)名誉会員の推薦について

2023年度 事業報告

1. 2023年度事業期間

2023年7月1日～2024年6月30日

2. 事業の概要

- | | | |
|---------------------------------|-------|--------------|
| (1) 第24回大会の開催 | 2023年 | 9月16日 |
| *開催校：追手門学院大学（対面開催） | | ～17日 |
| (2) 支部研究会の開催 | | |
| *詳細は別途 | | |
| (3) 学会研究活動の企画・推進 | — | |
| *「日本インターンシップ学会会員アンケート」調査の実施・検討 | | |
| (4) 『インターンシップ研究年報』第26号発行 | 2023年 | 10月31日 |
| (5) News Letterの発行及びその他の広報活動の充実 | No.1 | 2023年 11月30日 |
| | No.2 | 2024年 5月31日 |
| *ホームページの改定を進めている。 | | |
| (6) 2023年度 高良記念研究助成実施 | | |
| 2024年度 高良記念研究助成募集・選考 | | |
| (7) 学会創設25周年記念誌発行 | 2024年 | 6月18日 |

3. 総会

定例 2023年 9月 16日 （対面とオンラインによるハイブリッド開催）

4. 理事会

- | | | | | |
|-----|-------|-----|-----|---------|
| 第1回 | 2023年 | 8月 | 7日 | （Web会議） |
| 第2回 | 2023年 | 9月 | 5日 | （Web会議） |
| 第3回 | 2023年 | 11月 | 21日 | （Web会議） |
| 第4回 | 2024年 | 1月 | 15日 | （書面会議） |
| 第5回 | 2024年 | 3月 | 26日 | （Web会議） |
| 第6回 | 2024年 | 5月 | 30日 | （Web会議） |
| 第7回 | 2024年 | 6月 | 13日 | （書面会議） |

5. 各支部報告

- | | | | | |
|--------------------------------------|-------|-----|-----|--|
| (1) 北海道支部 | | | | |
| ①第1回研究会（於：北海商科大学/ハイブリッド開催） | 2024年 | 3月 | 3日 | |
| (2) 東日本支部 | | | | |
| ①第1回研究会（於：目白大学/ハイブリッド開催） | 2024年 | 2月 | 10日 | |
| ②第2回研究会（Web開催） | 2024年 | 3月 | 21日 | |
| ③支部総会・第3回研究会（於：愛知東邦大学/ハイブリッド開催） | 2024年 | 6月 | 22日 | |
| (3) 関西支部 | | | | |
| ①第18回研究会（於：キャンパスポート大阪/ハイブリッド開催） | 2023年 | 12月 | 15日 | |
| (4) 九州支部 | | | | |
| ①支部総会・第30回研究会（Web開催） | 2023年 | 8月 | 6日 | |
| ②第31回研究会（Web開催） | 2024年 | 1月 | 29日 | |
| ③第32回研究会（久留米大学福岡サテライトキャンパス/ハイブリッド開催） | 2024年 | 4月 | 19日 | |

2023年度 日本インターンシップ学会 一般会計 収支計算書

(2023年7月1日～2024年6月30日)

一般会計【収入の部】

(単位：円)

大科目	中科目	2023年度予算(a)	2023年度決算(b)	予実差異(b-a)
会費収入	小計	2,380,000	2,355,000	-25,000
	個人会員	1,730,000	1,650,000	-80,000
	学生会員	20,000	5,000	-15,000
	法人・団体会員	630,000	700,000	70,000
事業収入	小計	0	0	0
	研究会収入	0	0	0
	書籍・年報等販売収入	0	0	0
雑収入	小計	0	266,538	266,538
	受取利息	0	0	0
	その他の収入	0	0	0
	大会開催費余剰金	0	0	0
	北海道支部余剰金	0	0	0
	東日本支部余剰金	0	112,760	112,760
	関西支部余剰金	0	0	0
	九州支部余剰金	0	153,778	153,778
	当期収入合計(A)		2,380,000	2,621,538
前期繰越金		8,919,647	9,192,562	
収入合計(B)		11,299,647	11,814,100	

一般会計【支出の部】

大科目	中科目	2023年度予算額	2023年度決算(b)	予実差異(b-a)
事業費	小計	2,060,000	1,717,639	-342,361
	北海道支部活動費	200,000	200,000	0
	東日本支部活動費	200,000	200,000	0
	関西支部活動費	200,000	200,000	0
	九州支部活動費	200,000	200,000	0
	大会開催費(大会開催準備費)	300,000	300,000	0
	年報作成費	400,000	277,607	-122,393
	J-stage掲載関連費	60,000	0	-60,000
	記念事業費	400,000	307,032	-92,968
	役員選挙費	100,000	33,000	-67,000
	名簿作成費	0	0	0
	事務管理費	小計	3,090,000	1,126,293
通信費(郵送料等)		120,000	13,730	-106,270
HP管理費		1,000,000	89,650	-910,350
役員・委員等旅費補助		350,000	0	-350,000
業務外部委託費		1,020,000	1,006,687	-13,313
広報委員会経費		300,000	0	-300,000
企画研究委員会経費		200,000	0	-200,000
その他運営費		100,000	16,226	-83,774
当期支出小計		5,150,000	2,843,932	-2,306,068
特別会計へ	積立金	100,000	100,000	0
	寄付金	100,000	0	-100,000
予備費	予備費	5,949,647	0	-5,949,647
当期支出合計(C)		11,299,647	2,943,932	
当期収支差額(A)-(C)		-8,919,647	-322,394	
次期繰越金(B)-(C)		0	8,870,168	
支出合計		11,299,647	11,814,100	

2023年度 日本インターンシップ学会 特別会計 収支計算書

(2023年7月1日～2024年6月30日)

特別会計【収入の部】

(単位：円)

大科目	中科目	2023年度予算(a)	2023年度決算(b)	予実差異(b-a)
寄付金		0	0	0
積立金	小計	100,000	100,000	0
	一般会計より	100,000	100,000	0
雑収入	小計	0	0	0
	受取利息	0	0	0
	その他の収入	0	0	0
当期収入合計(A)		100,000	100,000	
前期繰越金		103,811	103,811	
収入合計(B)		203,811	203,811	

特別会計【支出の部】

大科目	中科目	2023年度予算(a)	2023年度決算(b)	予実差異(b-a)
特別事業費	小計	100,000	100,000	0
	高良記念研究助成事業費	100,000	100,000	0
	榎本記念賞事業費		0	0
事務管理費	小計	1,000	0	-1,000
	振込手数料	1,000	0	-1,000
	その他	0	0	0
予備費	予備費	102,811	0	-102,811
当期支出合計(C)		203,811	100,000	
当期収支差額(A)-(C)		-103,811	0	
次期繰越金(B)-(C)		0	103,811	
支出合計		203,811	203,811	

2023年度 日本インターンシップ学会

貸借対照表兼財産目録

(2024年6月30日 現在)

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	9,066,353	【流動負債】	92,374
預金	8,766,353	未払費用	22,374
郵便振替口座①	8,766,353	前受金	70,000
郵便振替口座②(解約)	0		
前払費用	300,000		
		(純資産の部)	
		剰余金	8,973,979
		(一般会計繰越金)	8,870,168
		(特別会計繰越金)	103,811
資産合計	9,066,353	負債・純資産合計	9,066,353

(注) 本来は貸借対照表と財産目録を個別作成する必要があるが、
財産が僅少のため当面本表にて対応することとする。

2024 年度 事業計画

1. 2024 年度事業期間

2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日

2. 事業の概要

- | | | |
|---|--------|-------------|
| (1) 第 25 回大会の開催 | 2024 年 | 9 月 14-15 日 |
| (2) 支部研究会の開催（各支部 1～3 回程度） | — | — |
| (3) 学会研究活動の企画・推進 | — | — |
| (4) 『インターンシップ研究年報』第 27 号の刊行 | 2024 年 | 10 月を予定 |
| (5) News Letter の発行（年 2 回）及びその他の広報活動の充実 | — | — |
| (6) 2024 年度 高良記念研究助成実施
2025 年度 高良記念研究助成募集・選考 | — | — |
| (7) 2023・2024 年度 榎本記念賞の募集・選考 | — | — |
| (8) 学会創設 25 周年事業の実施（継続） | — | — |
| (9) 次期役員を選出 | — | — |

2024年度 日本インターンシップ学会 一般会計 予算

一般会計【収入の部】

(単位:円)

大科目	中科目	2024年度予算	2023年度予算	2023年度実績	2022年度実績	2021年度実績	予算増減
会費収入	小計	2,250,000	2,380,000	2,355,000	2,430,000	2,570,000	-130,000
	個人会員(10,000円)	1,602,000	1,730,000	1,650,000	1,745,000	1,850,000	-128,000
	学生会員(5,000円)	18,000	20,000	5,000	5,000	20,000	-2,000
	法人・団体会員(20,000円)	630,000	630,000	700,000	680,000	700,000	0
事業収入	小計	0	0	0	0	0	0
	研究会収入	0	0	0	0	0	0
	書籍・年報等販売収入	0	0	0	0	0	0
雑収入	小計	0	0	266,538	273,888	560,670	0
	受取利息	0	0	0	0	0	0
	その他の収入	0	0	0	0	1,000	0
	大会開催費余剰金	0	0	0	0	118,601	0
	北海道支部余剰金	0	0	0	0	199,615	0
	東日本支部余剰金	0	0	112,760	129,995	10,149	0
	関西支部余剰金	0	0	0	0	139,285	0
	九州支部余剰金	0	0	153,778	143,893	92,020	0
当期収入合計(A)		2,250,000	2,380,000	2,621,538	2,703,888	3,130,670	-130,000
前期繰越収支差額		8,870,168	8,919,647	9,192,562	8,849,835	8,579,965	-49,479
収入合計(B)		11,120,168	11,299,647	11,814,100	11,553,723	11,710,635	-179,479

一般会計【支出の部】

大科目	中科目	2024年度予算	2023年度予算	2023年度実績	2022年度実績	2021年度実績	予算増減
事業費	小計	2,000,000	2,060,000	1,717,639	1,371,442	1,610,813	-60,000
	北海道支部活動費	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0
	東日本支部活動費	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0
	関西支部活動費	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0
	九州支部活動費	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0
	大会開催費(大会開催準備費)	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	0
	年報作成費	400,000	400,000	277,607	246,752	428,863	0
	J-stage掲載関連費	0	60,000	0	0	48,950	-60,000
	記念事業費	400,000	400,000	307,032	0	0	0
	役員選挙費	100,000	100,000	33,000	24,690	33,000	0
事務管理費	小計	3,270,000	3,090,000	1,126,293	1,162,634	1,149,987	180,000
	通信費(郵送料等)	120,000	120,000	13,730	52,970	88,957	0
	HP管理費	1,000,000	1,000,000	89,650	54,962	39,600	0
	役員・委員等旅費補助	350,000	350,000	0	0	0	0
	業務外部委託費	1,200,000	1,020,000	1,006,687	1,041,947	1,016,315	180,000
	広報委員会経費	300,000	300,000	0	0	0	0
	企画研究委員会経費	200,000	200,000	0	8,960	0	0
	その他運営費	100,000	100,000	16,226	3,795	5,115	0
当期支出小計		5,270,000	5,150,000	2,843,932	2,534,076	2,760,800	120,000
特別会計へ	積立金	300,000	100,000	100,000	100,000	100,000	200,000
	寄付金	0	100,000	0	0	0	-100,000
予備費	予備費	5,850,168	5,949,647	0	0	0	-99,479
当期支出合計(C)		11,120,168	11,299,647	2,943,932	2,634,076	2,860,800	-179,479
当期収支差額(A)-(C)		-8,870,168	-8,919,647	-322,394	69,812	269,870	49,479
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	8,870,168	8,919,647	8,849,835	0

2024年度 日本インターンシップ学会 特別会計 予算

特別会計【収入の部】

(単位:円)

大科目	中科目	2024年度予算額	2023年度予算	2023年度実績	2022年度実績	2021年度実績	予算増減
寄付金		0	0	0	0	0	0
積立金	小計	300,000	100,000	100,000	100,000	100,000	200,000
	一般会計より	300,000	100,000	100,000	100,000	100,000	200,000
雑収入	小計	0	0	0	23,964	1,020	0
	受取利息	0	0	0	0	0	0
	その他の収入	0	0	0	23,964	1,020	0
当期収入合計(A)		300,000	100,000	100,000	123,964	101,020	200,000
前期繰越収支差額		103,811	103,811	103,811	79,931	86,796	0
収入合計(B)		403,811	203,811	279,931	203,895	187,816	200,000

特別会計【支出の部】

大科目	中科目	2024年度予算額	2023年度決算	2023年度実績	2022年度実績	2021年度実績	予算増減
特別事業費	小計	300,000	100,000	100,000	100,000	100,000	200,000
	高良記念研究助成事業費	300,000	100,000	100,000	100,000	100,000	200,000
	槇本記念賞事業費				0	0	0
事務管理費	小計	1,000	0	0	84	440	1,000
	振込手数料	1,000	0	0	0	440	1,000
	その他	0	0	0	84	0	0
予備費	予備費	102,811	0	0	0	7,445	102,811
当期支出合計(C)		403,811	100,000	100,000	100,084	107,885	303,811
当期収支差額(A)-(C)		-103,811	0	0	23,880	-6,865	-103,811
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	103,811	103,811	103,811	79,931	-103,811

年報編集委員会報告

第 27 号の発刊

『インターンシップ研究年報』第 27 号を発刊致しました。「研究論文」には 4 本、資料等」には 3 本の投稿があり、うち 1 本を研究ノート、2 本を資料として掲載いたしました。編集に際しお力を戴きました全ての会員のみなさまに、改めまして深くお礼申しあげます。

第 28 号への投稿のお願い

第 28 号へ掲載する研究論文を募集いたします。【投稿締切は、2025 年 1 月 20 日(月) 23:59(厳守)】です。投稿をお考えの方は、第 28 号末および本学会ウェブサイトに掲載しております「編集規程」ならびに「第 28 号研究論文・資料等投稿規程」を必ず確認し、規程にしたがって投稿してください。投稿には、新しくなった年報編集委員会のメールアドレス(jsi.edit@js-internship.jp)をお使いください。

なお、第 28 号において「投稿規程」が一部改訂され、「研究論文」と「資料等」との非連続性が明記されました(「投稿規程」2.)。これは、インターンシップ研究にとって価値のある情報であれば、科学論文・学術論文の体裁を取らずとも「資料等」として投稿できる、ということを明確に示したものです。実践者も研究

者も集うこの学会のメリットを最大限活かすべく、「資料等」にも積極的にご投稿ください。一方でこの明記は、科学論文・学術論文の体裁を取るものは、必ず「研究論文」として投稿しなければならない、ということでもありますので、ご投稿の際には適切な投稿区分の選択をお願い致します。

会員のみなさまからの意欲的な投稿を、心よりお待ちしております。

研究倫理遵守のお願い

近年、研究倫理に関して一定の指針を出す学会等が増え、特にヒトを相手にする調査研究については所属組織内の倫理審査委員会の審査を通すことが必須となっています。本学会では指針は設けられていませんが、「投稿規程」には研究倫理の遵守が記載されています。

特に、実践をベースに研究をするというスタイルを取る会員の多い本学会において、業務上知り得た情報に基づいた学術論文の執筆・公表が難しくなりつつある、という点には注意が必要です。他の学会では、データの学術論文目的での使用について調査対象者や所属組織からの許諾がない、という理由で学会誌への論文掲載が見送られる事例もでてます。

指針の策定には学会全体での検討が必要ですが、投

稿予定の会員のみならずには、まずは所属機関や他の所属学会等の研究倫理関係規程を遵守の上で、投稿をお願いいたします。

(年報編集委員長 稲永由紀・筑波大学)

広報委員会報告

学会 Web サイトデザイン更新の完了について

広報委員会は学会情報を内外に発信し「インターンシップに係わる諸問題の研究の推進・普及、社会に対する啓発・提言」という役割を担い活動を行っております。2024 年度は、ニュースレターやメールマガジン配信など、通常の広報委員会業務に加えて、10 月 1 日には学会 Web サイトのデザイン更新が完了いたしました。会員の皆さまから様々なご意見やアドバイスをいただいたことを深く感謝いたします。ありがとうございました。

今後も広報委員会が行っていく様々な業務について委員会メンバーで着実にやって参りたいと考えております。また、委員会メンバーには各支部から加わっておりますので、各支部で実施する研究会の情報も積極的に発信していければと考えております。

学会 Web サイト・メールマガジン配信について

広報委員会では本学会に寄せられた研究会やセミナー開催案内および会員の皆さまにとって有益な情報を学会 Web サイトに掲載するほか、随時、メールマガジンで配信しております。本学会に関連する情報がございましたら、広報委員会までメールでご連絡ください (jsi.prc@gmail.com)。なお、最終的な掲載可否は広報委員会で検討させていただきますのでご了承ください。

(広報委員会委員長 上岡史郎・
目白大学短期大学部)

学会表彰委員会報告

2024 年度(第 18 回)高良記念研究助成対象者決定報告

本学会では、2007 年度からインターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及のため、若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進に向けて「高良記念研究助成」制度を設け、優れた研究課題への研究助成を行っております。

今回は 4 件のエントリーをいただき、委員による厳正な審査の結果、以下の 3 件を採択させていただき、先日開催された第 25 回大会にて発表・表彰が行われました。採択者の研究報告は 2025 年に予定されている第 26

回大会にて行われる予定です。

・安藤奏 会員 (特定非営利活動法人ブランディングポ
ート)「長期実践型インターンシッププログラムにおける
経験学習と内省支援の有効性について」

・岡靖子 会員 (琉球大学)「大学生のキャリア選択に
おけるインターンシップの効果」

・川端千鶴 会員 (北海道大学)「学士課程での国際イ
ンターンシップにおける大学教育と職業の接続に関する
研究-卒業生のキャリア意識とダイバーシティへの理解
に着目して-

また、前回 2023 年度に採択された角光通子会員(宇
部フロンティア大学)の「企業・施設の受け入れ側から
みる大学生インターンシップの成熟モデル-山口県イ
ンターンシップ推進協議会 登録企業調査より-」の報告
もあわせて今回大会で行われました。

楨本記念賞報告

楨本記念賞は、学会顧問、大阪経済大学名誉教授の
楨本淳子先生のご寄付により創設され、2015 年の全
国大会より 2 年毎に「秀逸なインターンシップ」事例を
選定し、表彰を行っております。

次回は、2025 年に開催される第 26 回大会にて表
彰を実施する予定ですが、今後各支部を中心として、イ
ンターンシップ事例をご推薦いただき、選定を進めて参
ります。事例募集は、2025 年 6 月をめどに今後の理事
会や学会 Web サイトを通し各支部・会員の皆さまにお
知らせします。会員の皆様におかれましては、ぜひ秀逸
な事例を各支部と共有していただければと存じます。皆
さまからのエントリーをお待ちいたしております。

(学会表彰委員会委員長 眞鍋和博・
北九州市立大学)

企画研究委員会報告

企画研究委員会では、「インターンシップ専門人材の
養成」をテーマに研究活動を続けてきました。これまでの
成果を「インターンシップ専門人材の現状と課題-企画
研究委員会中間取りまとめ-」として、年報第 27 号に資
料掲載したところです。会員ニーズの把握と国内外の養
成の取り組みを紹介するとともに、昨今のインターンシ
ップを巡る環境変化のなかで、学会として何ができるの
かについて若干の問題提起をしました。議論の題材として
いただければと思っております。

これまで、日本インターンシップ学会は研究活動の場
の創出を通じて、会員の専門能力の向上に貢献してきま
したが、参加のハードルが高いことも会員アンケート調査

から垣間見えたところです。学会活動を活性化させることが、専門人材の養成に貢献しうるとの考えに基づき、このたび、企画研究委員会主催「学会活動促進セミナー」を開催することといたしました。研究年報・学会発表・学会表彰の3つの場について、趣旨ならびに参加方法を説明するとともに、参加者の体験談をお話いただく予定です。いつ、何を、どのように準備をしていけばいいのをお伝えします。会員皆さまの参加促進につながることを期待しています。

近日中にご案内します。オンライン開催を予定しています。

(企画研究委員長 平尾元彦・山口大学)

支部活動報告

【北海道支部】

2024 年度支部総会

2024 年 7 月 13 日(土) 10:30 から札幌国際大学 経済センターキャンパス (Zoom とのハイブリッド) で支部総会を開催しました。議題として活動計画及び予算、支部長提案として本年度支部役員、支部研究奨励費の創設について審議しました。この中で支部と本部役員の任期が1年ずれているため運営に支障があることから、本年度から本部と改選期をあわせることとしました。それに伴いメール審議にて本年度支部運営委員(単年度)を以下の通り選出しました。

<2024 年度 支部運営委員>

支 部 長 高橋秀幸
副支部長 小林純、原一将
運営委員 石田麻英子、亀野淳、川上あき
 小山田健、齋藤麻美世、田崎悦子
 椿明美、樋原智恵、和田佳子
監 事 後藤真澄
顧 問 沢田隆
事 務 局 小林純

2024 年度第 1 回・第 2 回運営委員会

2024 年 10 月 7 日(月) 19:00 からオンライン (Zoom) で第 1 回運営委員会を開催しました。新運営体制と支部活動・事業計画の確認、第 26 回全国大会に向けて議論しました。全国大会は支部運営委員メンバーを大会実行委員として準備を進めることとしました。

また、10 月 29 日(火) 19:00 からオンライン (Zoom) で第 2 回目運営委員会兼実行委員会を開催し、全国大会の日程や会場、テーマ等について議論し決

定しました。全国大会詳細については全国大会の記事をご覧ください。

2024 年度第 1 回支部研究会(予定)

本年度の第 1 回支部研究会は 2025 年 3 月 9 日(日) 13 時から「様々なインターンシップの事例紹介」をテーマに、「高校生のインターンシップ・職場体験の現状報告」、「職人の世界のインターンシップ(大工さんの養成)」についてご報告いただき、さらに会員の実践しているインターンシップの事例紹介を行う予定です。詳細が決まりましたら学会 web サイトでお知らせいたします。

(北海道支部支部長 高橋 秀幸・
北海道武蔵女子短期大学)

【東日本支部】

2023 年度 第 3 回支部研究会および支部総会の開催

2024 年 6 月 22 日(土)に、第 3 回支部研究会ならびに支部総会を開催いたしました。当日は、愛知東邦大学を会場に対面とオンラインのハイブリット形式で開催し、全国から 22 名の大学教職員、民間企業などの皆様に参加いただきました。

研究会では、2023 年度支部研究会のテーマである「インターンシップ研究における共創」を踏まえ、NPO 法人 G-net の棚瀬規子会員と名古屋産業大学の今永典秀会員より、東海地区における共創の具体的な実践事例の話題提供をいただきました。その後、多様なアクターが共創する上でのポイントなどについて参加者と議論しました。自由研究発表では、岐阜大学の柴田仁夫会員より「課題解決型実習から課題設定型実習へー往還型学習によるキャリアアンカーの確立」について発表いただきました。

研究会終了後に支部総会を開催し、2023 年度の支部事業の報告と支部決算および監査報告、ならびに 2024 年度の支部事業計画(案)と支部予算(案)が承認されました。

2024 年度第 1 回支部研究会

2024 年度の支部研究会は、「大学および学生とインターンシップ受入先とをつなぐ中間支援組織の取組み」をテーマに、第 1 回支部研究会を 2025 年 2 月に目白大学を会場とした対面とオンライン配信によるハイブリット形式で開催予定です。今後詳細が決まり次第、会員の皆様にご案内をさせていただきます。

(東日本支部支部長 松坂暢浩・山形大学)

【関西支部】

関西支部運営委員会を開催しました

関西支部は、10月24日(木)に関西支部運営委員会を対面とオンラインのハイブリッドで開催しました。関西支部第19回研究会などについて議論しました。

関西支部第19回研究会の日程などが決まりました

関西支部では、今年も大学コンソーシアム大阪に共催していただき、2024年12月13日(金)夜にキャンパスポート大阪において、支部研究会を開催します。今年も、対面とオンラインのハイブリッドで開催します。

最初の報告者は、大学コンソーシアムひょうご神戸(29大学・6短期大学・1高等専門学校が加盟)のインターンシップご担当者です。2006年に設立された大学コンソーシアムひょうご神戸は、キャリア事業として、「ひょうご留学生インターンシップ」や地域・業種別の先輩インタビュー動画を作成・配信するなど、独自のお取組をされています。

二つ目の報告者は三保 紀裕 会員(京都先端科学大学)、テーマは「京都先端科学大学のインターンシップ～三省合意への対応を踏まえ～」(仮)です。京都先端科学大学は、全学共通型(海外インターンシップと国内インターンシップの2類型)と学部特化型(たとえば経済経営学部では長期インターンシップを実施)のインターンシップを提供しています。これらは、2022年に改正された三省合意と整合的に運営されています。

正式な案内ができたところで、学会ホームページを通じてお知らせします。交流会も開催しますので、有意義な意見交換ができますことを期待しております。多くの会員のご参加を、心よりお待ちしております。

(関西支部長 安孫子勇一・近畿大学)

【九州支部】

2024年度第1回九州支部運営委員会

2024年7月26日(金)19:00からオンライン(Zoom)形式で2024年度第1回九州支部運営委員会を開催しました。議題は、九州支部総会について、とりわけ2024年度の活動計画について協議されました。

2024年度九州支部総会

2024年7月26日(金)19:30からオンライン(Zoom)形式で、2024年度九州支部総会を開催しました。出席は12名(他、欠席者からの委任状4件)、主な議題は、2023-2024年度支部運営委員について、2023年度会計報告・監査報告、2023年度活動報告、2024年度活動計画及び2024年度予算計画について審議され、すべて承認されました。また、今後の支部活

動内容について、参加者との意見交換がなされ、2024年度も実践型と研究型の2つのテーマで2回程度の研究会を実施することとなり、研究型ではスタートアップ支援の次の段階として、調査方法等の勉強会を実施することとなりました。

2024年度は、実践型を高校インターンシップに関するテーマで冬に、研究型を研究方法勉強会とスタートアップ支援(4)を春に実施することで調整中です。研究会の日程等が確定しましたら、学会webサイトでご案内いたします。

<2023-2024年度 支部運営委員>

- 支部長 眞鍋和博(北九州市立大学)
顧問 吉本圭一(九州大学名誉教授・滋慶医科大学)
副支部長 古賀正博(渉外担当/九州インターンシップ推進協議会)
江藤智佐子(広報担当/久留米大学)
運営委員 井本浩之(西九州大学)、嶋田文広(熊本学園大学)、濱本伸司((一社)フミダス)、平尾元彦(山口大学)、渡邊和明(鹿児島大学)、桑畑夏生(宮崎大学)
監事 岡本信弘(博多工業高等学校)
事務局長 江藤智佐子(久留米大学)
事務局員 坂田美和子(九州インターンシップ推進協議会)
(九州支部副支部長 江藤智佐子・久留米大学)

事務局からのお知らせ

2024年度会費納入のお願い

2024年度の会費納入につきまして、会員の皆さまに案内を送付させていただいております。オンラインでの決済も可能となりましたので、ぜひご活用ください(学会ホームページの「会員情報照会・更新にログイン後「オンラインクレジット決済システム」または「年会費のクレジット決済」へお進みください)。

なお、2023年度(2023年7月から2024年6月)分の会費につきましても、納入をお願いいたします。『研究年報』投稿、大会発表は2024年度の会費を納入済みであることが条件となりますので、入金はまだの方は速やかに納入いただきますようお願いいたします。

【振込先】

・郵便口座 02750-1-108419

口座名義(「加入者名」の欄):

日本インターンシップ学会

・ゆうちょ銀行

店番 :279(当座)

口座番号:108419

口座名義:日本インターンシップ学会

*恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

(事務局長 山口圭介・玉川大学)

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2024 No.1

発行日:2024(令和6)年11月30日

発行:日本インターンシップ学会 会長 吉本圭一

編集:日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 上岡史郎

事務局:日本インターンシップ学会事務局 事務局長 山口圭介

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 401

(株)ガリレオ学会業務情報化センター内

日本インターンシップ学会 会員管理事務局

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852

e-mail: g035jsi-support@ml.gakkai.ne.jp